

平成28年度いじめ未然防止プログラム 「活動のマトリクス」

学校名 網走市立第二中学校

	ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域の関連を図ったプログラム	イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム	ウ 社会教育（家庭や地域）と連携した体験活動との関連を図ったプログラム	エ（その他）道徳教育・人権教育・情報モラル教育等との関連を図ったプログラム
① 居場所 づくり 教師が主体	<p>【A① 体育祭後のSGE】 ・体育祭における各自のがんばりをシートに記入させ相互に認め合う活動を行う。</p> <p>【A② 「ほっと」から教育相談へ①】 ・学校祭後の人間関係を「ほっと」で調査し、それを基に学年で交流し、教育相談の充実に生かす。</p>	<p>【D 体育祭・学校祭の活動】 ・実施後にアンケート調査を行い、次年度の企画、運営に反映させる。 ・活動の相互評価を実施し、他学年、他学級の優れた点について交流する。</p>	<p>【G① 職場体験学習（2年生）】 ・市内の各事業所を訪問し、体験学習を実施する。</p> <p>【G② 赤ちゃん体験】 ・保育所や子育て支援施設において、実際に赤ちゃんに触れ合い、命の大切さを学ぶ。</p>	<p>【J 道徳講話】 ・自立し、よりよく生きるための道徳性を養うことをねらいとし、外部講師を招いた講演会を開催する。</p>
② 絆 づくり 生徒が主体	<p>【B① 小6体験学習】 ・中1がホスト役になり、小6の児童を迎え、交流会を企画・運営する。</p> <p>【B② 新入生歓迎会でのSGE】 ・生徒会が主体となり、全校生徒と交流するSGEを企画・実施する。</p>	<p>【E① 3年生を送る会】 ・生徒会が企画・運営する。</p> <p>【E② 図書室の充実】 ・図書室の一部をサロン化し、昼休みや放課後の居場所にする。</p> <p>【E③ 学校祭・卒業式の全校合唱】 ・生徒会がリーダーとなり、全校合唱を通して絆を深める。</p>	<p>【H 地域行事への参加】 ・吹奏楽部による福祉施設や網走刑務所での慰問演奏、運動部が市内駅伝大会に出場するなど、積極的に地域行事に参加することにより、地域の一員としての自覚を育てる。</p>	<p>【K 「誓い」校内掲示】 ・生徒玄関と学級に「誓い」を掲示し、生徒の意識を高める。</p>
③ 環境 づくり いずれかが主体	<p>【C① 卒業式の準備(装飾)】 ・生徒会が主体となり、在校生の協力の下、卒業式の装飾を行う。</p> <p>【C② 「ほっと」から教育相談へ②】 ・集計結果を基に、生徒一人一人や集団としての課題を明らかにし、解決に向けた具体策を全教職員で共通理解し、指導、援助する。</p>	<p>【F 「誓い」の啓発運動】 ・生徒会が報道局と連携し、「誓いの歌」を昼の放送で流すことにより、「誓い」を全校生徒に浸透させる。 ※「誓い」は、生活の指針であり、校則に代わるものである。</p>	<p>【I 冬の除雪ボランティア】 ・網走桂陽高等学校と合同で、地域の高齢者住宅や公共施設の除雪を行う。</p>	<p>【L ネットトラブル未然防止】 ・警察・携帯電話会社・IT専門家等を招いた講話と各学級における具体的事例を用いた指導により、ネットトラブルの未然防止を図る。</p>

←→ は、活動のつながりを示しています。

太枠網掛けをした活動は、「指定校の主な活動」に概要が記載されています。

平成28年度いじめ未然防止プログラム「年間の取組計画」

【本校の取組の特徴】

- 学校行事において、生徒会が主体となり全校生徒でいじめの未然防止に取り組み、互いを理解する力や協力して問題を解決していく力などを育てています。
- 生徒が望ましい人間関係を築くことができるよう、構成的グループエンカウンターを学校行事と関連付けて行い、指導の工夫を図っています。
- 全教職員が教育相談を実施するなど、学校全体で全ての生徒を見守る体制を整備しています。

月	学校行事等	ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域等の関連を図ったプログラム	イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム	ウ 社会教育（家庭・地域）と連携した体験活動との関連を図ったプログラム	エ （その他）道徳教育・人権教育・情報モラル教育等との関連を図ったプログラム	備考
4	始業式 入学式 対面式	★新入生歓迎会でのSGE【絆】	★「誓い」の啓発運動【環】 図書室の充実【絆】		「誓い」校内掲示【絆】 ネットトラブル未然防止【環】	
5	生徒総会 体育祭 ネットトラブル講話	★体育祭後のSGE【居】	★体育祭の活動【居】			
6	中体連壮行会					いじめアンケート実施①
7		★「ほっと」から教育相談へ①【居】			道徳講話【居】	ほっと実施①
8	職場体験 修学旅行			職場体験学習（2年）【居】		校内研修会の実施①
9	前期終了			赤ちゃん体験【居】	ネットトラブル未然防止【環】	「ネットトラブルアンケート」実施
10	学校祭	★「ほっと」から教育相談へ②【環】	★学校祭の活動【居】 ★学校祭の全校合唱【居】	地域行事への参加【絆】	道徳講話【居】	ほっと実施②
11	公開研究会 教育相談 三者面談				ネットトラブル未然防止【環】	いじめアンケート実施② 教育相談の実施①
12						
1						「ネットトラブルアンケート」実施
2	6年生体験入学	小6体験学習【絆】 卒業式の準備（装飾）【環】		冬の除雪ボランティア【環】		学校基本方針の見直し
3	3年生を送る会		3年生を送る会【絆】 ★卒業式の全校			年間活動計画の重点項目・観点の検討 年間活動計画の決定
4						

※【居】【絆】【環】は、【居場所づくり】【絆づくり】【環境づくり】の各観点を示しています。

平成 28 年度いじめ未然防止プログラム「活動のマトリクス」

学校名 清水町立清水中学校

	ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域の関連を図ったプログラム	イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム	ウ 社会教育(家庭や地域)と連携した体験活動との関連を図ったプログラム	エ (その他)道徳教育・人権教育・情報モラル教育等との関連を図ったプログラム
① 居場所づくり 教師が主体	<p>【A① みんなが理解できる授業づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業のユニバーサルデザイン化などを通して組織的に学習や学校生活の支援を行う。 <p>【A② 生徒が抱える問題の共有化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育相談や生徒指導交流会を通して問題点の共有を図る。 	<p>【D 生徒会活動の紹介】</p> <ul style="list-style-type: none"> しみず『教育の四季』子どもフォーラムへの参加を通して生徒の自治活動について、発信する機会を設ける。 	<p>【G 世代間交流を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> 老人介護施設の訪問を実施し、お年寄りとの交流を通して命の大切さを学ぶ機会を設ける。 	<p>【J① トラブルを未然に防ぐ情報モラル学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ネット利用安全教室を通して、ネットトラブルの未然防止につなげる。 <p>【J② よりよい教室環境を目指して】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ほっと」や「Q-U」を活用し、よりよい学級集団づくりを目指す。
② 絆づくり 生徒が主体	<p>【B ようこそ清水中学校へ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会入会式を通して、新入生を仲間として迎える雰囲気を醸成する。 体育祭縦系列での種目練習を通して学年間の仲間意識づくりを目指す。 	<p>【E いじめ撲滅への土台づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒総会での「いじめ撲滅宣言」の採択によりいじめ根絶に向けた土台となる意識をもたせる。 生活委員会が作成した標語「心のクリーン作戦」により規範意識を高める。 ピンクシャツデーの取組を通して、いじめ問題を改めて考える機会とし、いじめ撲滅を再認識させる。 	<p>【H 自分たちにできる地域貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会による募金活動やペットボトルキャップ回収を通して社会福祉協議会との連携を図る。 災害ボランティア活動を通して、地域社会への貢献の意義を認識させる。 	<p>【K ボーダーレスコミュニケーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会や生活委員会が中心となって「挨拶運動」を実施し、気軽に声掛けし合える環境づくりを目指す。
③ 環境づくり いずれかが主体	<p>【C 共に創り上げ、喜びを分かち合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化祭学校制作での共同作品づくりを通して、全校生徒の一体感を高める。 卒・入学式を通して仲間の思いやる気持ちを高める。 	<p>【F 地域社会の中の中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の環境整備週間に合わせてクリーン作戦を実施し、地域社会の一員であるという自覚の再認識と、守られていることへの感謝の気持ちを高める。 	<p>【I 地域社会とつくり上げる中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内住民と協力して学校花壇づくりを通して、地域・学校の協働・協力体制の確立を目指す。 	<p>【L 小さな声に気付くために】</p> <ul style="list-style-type: none"> 投書箱を設置し生徒の率直な意見等、リアルタイムな個々の「声」を吸い上げることでできる場を設定する。

←→ は、活動のつながりを示しています。

太枠網掛けをした活動は、「指定校の主な活動」に概要が記載されています。

平成 28 年度いじめ未然防止プログラム「年間の取組計画」

【本校の取組の特徴】

●体育祭における「組体操」や文化祭の「巨大モザイク壁画」、そして十勝子ども大会で披露する「第九」の合唱など、全校生徒や複数学年が協力協働して取り組む活動が多い。そうした活動を通して、生徒が自らの手で『絆』をつくり上げ、生徒が自らの言葉と姿で伝統を引き継いでいくという、生徒の活動を中心とした学校づくりを進めている。

月	学校行事等	ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域等の関連を図ったプログラム	イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム	ウ 社会教育(家庭・地域)と連携した体験活動との関連を図ったプログラム	エ (その他)道徳教育・人権教育・情報モラル教育等との関連を図ったプログラム	備考
4	始業式 入学式 生徒会入会式 3年修学旅行	ようこそ清水中学校へ【絆】 みんなが理解できる授業づくり【居】	いじめ撲滅への土台づくり			
5	生徒総会 体育祭	★体育祭組体操の練習【絆】	地域社会の中の中学校(花壇づくり)【環】 ★心のクリーン作戦【絆】	地域社会とつくり上げる中学校【環】	よりよい教室環境を目指して【居】 小さな声に気付くために【環】	「ほっと」実施① いじめアンケート①
6	中体連壮行会 校内マラソン大会 生徒指導交流会	生徒が抱える問題の共有化【居】			ボーダーレスコミュニケーション【絆】 トラブルを未然に防ぐ情報モラル学習【居】	教育相談アンケート① 教育相談①実施
7	2年宿泊学習		地域社会の中の中学校(クリーン作戦)【環】	自分たちに出来る地域貢献【絆】	よりよい教室環境を目指して【居】	Q-Uの実施①
8		共に創り上げ、喜びを分かち合う【環】				
9	文化祭	★文化祭学校制作【絆】		災害救援活動【絆】		
10	生徒総会 3年保育所訪問	★合唱練習【絆】				いじめアンケート② 教育相談アンケート②
11	十勝子ども大会 三者面談 生徒指導交流会 2年職場体験学習		★いじめ撲滅宣言アピール【絆】 子どもフォーラム参加【絆】		よりよい教室環境を目指して【居】	「ほっと」実施② 教育相談②実施
12	3年球技大会 3年老人ホーム訪問			世代間交流を通して【居】	よりよい教室環境を目指して【居】	Q-Uの実施②
1	スキー学習		生徒会活動の紹介【居】			
2			★ピンクシャツデー【絆】			
3	1・2年球技大会 生徒総会 卒業式 終了式	★卒業式に向けた取組【絆】	3年生を送る会【絆】			
4						

※【居】【絆】【環】は、【居場所づくり】【絆づくり】【環境づくり】の各観点を示しています。

平成 28 年度いじめ未然防止プログラム「活動のマトリクス」

学校名 標茶町立標茶中学校

	ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域の関連を図ったプログラム	イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム	ウ 社会教育（家庭や地域）と連携した体験活動との関連を図ったプログラム	エ （その他）道徳教育・人権教育・情報モラル教育等の関連を図ったプログラム
① 居場所 づくり 教師が主体	<p>【A 担任への手紙】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや日頃考えていることなどを気軽に「手紙」形式で記し、その内容をもとに教育相談につなげる。 	<p>【D 教育相談の手法を取り入れた学級づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 構成的グループエンカウンターやピア・サポートの手法を取り入れた取組を計画的に実施する。 	<p>【G 特養「やすらぎ園」訪問（1年）、赤ちゃんふれあい体験（3年）】</p> <ul style="list-style-type: none"> お年寄りや赤ちゃんとの交流を通して思いやりの気持ちをもつ。 	<p>【J 「ほっと」等の調査と連動させた教育相談活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ほっと」の結果を学年ごとに分析したうえで、気になる生徒についてスクールカウンセラーにカウンセリングしてもらう。
② 絆 づくり 生徒が主体	<p>【B① 新入生体験入学における学校紹介】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会書記局が学校紹介を行う。 <p>【B② 体育祭での団活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上級生が下級生に種目練習の指導をするなどの縦割り活動を行う。 	<p>【E① ピンポン球リレー大会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昼休みに生徒会主催で縦割り班対抗の競技を行う。 <p>【E② あいさつ運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会書記局・生活常任委員会の生徒が、生徒玄関前で登校生徒と挨拶を交わす。 	<p>【H いじめ根絶子ども会議（町教委主催）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内の児童会・生徒会代表が集まり、自校のいじめ対策について交流する。 	<p>【K いじめ根絶宣言】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会が中心となって作成した「いじめ根絶宣言」を生徒玄関に掲示し、いじめ根絶への生徒の意識を高める。
③ 環境 づくり いずれかが主体	<p>【D 卒業式・入学式での全校合唱】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指揮者やパートリーダーを中心とした学年の枠を超えた自主的な合唱練習を行う。 	<p>【F 言葉遣いアンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「なくそうちくちく言葉・増やそうほんわか言葉」がどれだけ意識できているかのアンケート調査を行う。 	<p>【I 挨拶声かけいじめ根絶標語ポスターへの応募（町育成協主催）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶励行やいじめ根絶のための標語やポスターを作成してコンクールに応募する。 	<p>【L① 携帯電話教室（2年）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 携帯電話やスマートフォンの使い方やその危険性などについて、外部講師に講話してもらう。 <p>【L② 情報モラルチャレンジ】</p> <ul style="list-style-type: none"> LINE やフェイスブックのトラブル事例をもとに、その使用法や危険性について考える。

↔ は、活動のつながりを示しています。

太枠網掛けをした活動は、「指定校の主な活動」に概要が記載されています。

平成 28 年度いじめ未然防止プログラム「年間の取組計画」

【本校の取組の特徴】

- 体育祭や文化祭での異年齢集団による交流や、文化祭・卒業式での全校合唱を通して、自分の役割を果たすことで、生徒に自己有用感や望ましい人間関係を築く力、社会性を育てています。
- 普段、思っていることを言葉で伝えることが苦手な生徒に配慮して、「担任への手紙」を年に3回実施することにより、生徒理解の方法について工夫を図っています。

月	学校行事等	ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域等の関連を図ったプログラム	イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム	ウ 社会教育(家庭・地域)と連携した体験活動との関連を図ったプログラム	エ (その他)道徳教育・人権教育・情報モラル教育等との関連を図ったプログラム	備考
4	始業式 入学式 対面式 家庭訪問		あいさつ運動【絆】			教育相談の実施①
5	生徒総会 修学旅行		教育相談の手法を取り入れた学級づくり【居】		「いじめ根絶宣言」【絆】	いじめアンケート実施①
6	宿泊研修、遠足 中体連壮行会	★体育祭での団活動【絆】	ピンポン球リレー大会【絆】		「ほっと」等の調査と連動させた教育相談活動【居】	「ほっと」実施①
7	体育祭 高校説明会 終業式 夏休み学習会	★担任への手紙【居】		挨拶声かけいじめ根絶標語ポスターへの応募【環】	携帯安全教室【環】	
8	始業式 演劇鑑賞会					校内研修会の実施
9	生徒会役員選挙				★情報モラルチャレンジ【環】	教育相談の実施②
10	文化祭 生徒総会 職業体験			赤ちゃんふれあい体験【居】	「ほっと」等の調査と連動させた教育相談活動【居】	「ほっと」実施②
11	公開研究会 二者面談		言葉遣いアンケート【環】	特養「やすらぎ園」訪問【居】		いじめアンケート実施②
12	新入生体験入学 三者面談 終業式	新入生体験入学における学校紹介【絆】 ★担任への手紙【居】		いじめ根絶子ども会議【絆】		
1	始業式				「ほっと」等の調査と連動させた教育相談活動【居】	「ほっと」実施③
2	町生徒表彰	★担任への手紙【居】				学校基本方針の見直し
3	卒業式 終了式	★卒業式・入学式での全校合唱【環】				年間活動計画の重点項目・観点の検討
4						年間活動計画の決定

※【居】【絆】【環】は、【居場所づくり】【絆づくり】【環境づくり】の各観点を示しています。

平成 28 年度いじめ未然防止プログラム「活動のマトリクス」

学校名 根室市立光洋中学校

	ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域の関連を図ったプログラム	イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム	ウ 社会教育（家庭や地域）と連携した体験活動との関連を図ったプログラム	エ （その他）道徳教育・人権教育・情報モラル教育等の関連を図ったプログラム
① 居場所 づくり 教師が主体	<p>【A① ユニバーサルデザインを意識した授業づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな配慮のある授業づくりを行い、生徒の困り感を軽減する。 <p>【A② 振り返り学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校行事などで仲間の良かった点を振り返り、次の活動につなげていく。 	<p>【D① 学級づくり（前期・後期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級目標の作成を通して、仲間意識を育む。 学級組織の構成を通して、学級内での役割を明確にする。 <p>【D② 教育相談の手法を取り入れた学級づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> カウンセリングマインドを意識したコミュニケーションを通して、生徒理解を図る。 	<p>【G 保育所訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間において、保育所訪問を実施する。 幼児と触れ合う計画を立てる。 	<p>【J ネットトラブル防止講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> 警察官や専門家による講話を行い、正しいネットの利用方法を学ぶと同時に、トラブルの未然防止を図る。
② 絆 づくり 生徒が主体	<p>【B① 全校構成的グループエンカウンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全校集会の場で、生徒会が中心となり、学年の域を超えたコミュニケーション（ふれあい）活動を行う。 <p>【B② 生徒が行う学級活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒（級長など）が中心となって、いじめについて深く考える。 <p>【B③ いじめ根絶集会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒（級長など）が中心となって、いじめについて深く考える。 	<p>【E① 朝の挨拶運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会役員が中心となり、生徒玄関で挨拶運動を行う。 <p>【E② 3年生を送る会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 在校生が3年生へ今までの感謝の気持ちを表す会を行う。 	<p>【H ボランティア募金】</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内で募金活動を行い、地域の福祉活動や自然災害被災地を支援する。 	<p>【K ネットトラブル防止活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会が中心となり、ネットトラブルの未然防止に向けた方法を考え、発信する。
③ 環境 づくり いずれかが主体	<p>【C 学習規律5箇条】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校で定めた共通の学習規律を教室に掲示し、学習環境を整える。 	<p>【F① いじめ根絶宣言・ポスターの掲示】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会が中心となり、いじめ根絶宣言を作成し、校内に掲示する。 <p>【F② みんなのステ木運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒玄関に木のオブジェを作製し、友達の素敵な部分を書き込んでいく。 	<p>【I 登下校指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員と保護者が定期的に登下校指導を行い、安全な登下校環境を整えるとともに、生徒に声掛けをする。 	<p>【L 「Q-U」「ほっと」を活用した教育相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年2回実施し、結果に応じた教育相談を定期的・継続的に行う。

↔ は、活動のつながりを示しています。

太枠網掛けをした活動は、「指定校の主な活動」に概要が記載されています。

平成 28 年度いじめ未然防止プログラム「年間の取組計画」

【本校の取組の特徴】

- 「全校構成的グループエンカウンター」など生徒会が中心となる活動を通して、望ましい人間関係を築くために必要なコミュニケーション能力を育成している。
- ユニバーサルデザインを意識した授業づくりや、カウンセリングマインドを意識した学級づくりなど、生徒が安心して学習できる居場所づくりに努めている。

月	学校行事等	ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域等の関連を図ったプログラム	イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム	ウ 社会教育(家庭・地域)と連携した体験活動との関連を図ったプログラム	エ (その他)道徳教育・人権教育・情報モラル教育等との関連を図ったプログラム	備考
4	・始業式 ・入学式 ・対面式 ・地域清掃	ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり【居】 学習規律5箇条【環】	前期学級づくり【居】	登下校指導【環】		
5	・生徒総会 ・修学旅行	振り返り学習【居】 全校構成的グループエンカウンター【絆】	教育相談の手法を取り入れた学級づくり【居】		「Q-U」「ほっと」を活用した教育相談【環】	Q-Uの実施①
6	・中体連壮行式 ・校内弁論大会	生徒が行う学級活動【絆】 いじめ根絶集会【絆】	朝の挨拶運【絆】 いじめ根絶宣言の掲示【環】	ボランティア募金【絆】		いじめアンケート実施①
7	・体育祭 ・終業式				ネットトラブル未然防止講座【居】	
8	・始業式 ・炊事遠足			保育所訪問【居】		校内研修の実施①
9	・宿泊研修 ・健脚大会 ・三者面談		みんなのステホ【環】		ネットトラブル未然防止活動【絆】	
10	・文化祭 ・役員選挙		後期学級づくり【居】			
11	・職場体験 ・生徒総会		いじめ根絶ポスターの掲示【環】			いじめアンケート実施②
12	・終業式					Q-Uの実施②
1	・始業式					校内研修の実施①
2						次年度の年間活動計画の重点項目・観点の検討
3	・3年生を送る会 ・卒業式		3年生を送る会【絆】			次年度の年間指導計画の決定 学校基本方針の見直し
4						

※【居】【絆】【環】は、【居場所づくり】【絆づくり】【環境づくり】の各観点を示しています。